

# 校内研修計画

塩山北中学校

## 1 学校課題

近年、情報化や科学技術の高度化、国際化など、社会はめまぐるしい変化を遂げ、生徒を取り巻く環境も大きく変わりつつある。その社会情勢を踏まえ、今後の教育課題について考えてみたとき、激しい社会の変化にも、柔軟に適応できる能力を育成することが必要であると思われる。社会の変化に適応できる力、すなわち自らが進んで問題を解決し、主体的に活動できる能力をすべての生徒に身につけさせることが、学校教育の今日的課題である。

本校は、大菩薩山嶺の扇状地に広がる農村地帯に位置する小規模学校である。幼少期から少人数の学級で過ごしてきたため、友人との関わりや他者とのコミュニケーションが苦手な生徒が多い。また、何事にも真面目に取り組むことができるが、主体的に物事に挑戦しようという意欲やよりよいものを創造したり、表現したりしようとする意欲に欠けることが課題である。

## 2 研究主題

主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造

～学習活動の振り返りを次につなげる工夫を通して～

## 3 主題設定の理由

新学習指導要領の総則では、中学校教育の基本と教育課程の役割として、適切な教育課程を編成し、それらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。また、それらの教育活動を進めるに当たっては、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、『多様な人々との協働を動かす教育』や『豊かな心や創造性の涵養を目指した教育』『健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを目指した教育』等の実現を図り、生徒に生きる力を育むことを目指すものとされている。このことから、学校における適切な教育課程の編成と授業改善を図るには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践及び研究を進めることがまず必要であると言える。

本校では、これまで「心豊かで主体的に活動する生徒の育成」という研究主題のもと、研究を進めてきた。甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの「学級づくり・集団づくり」に着目し、QUアンケートを活用した実践を行うなど、各学級のより良い集団づくりに結びつき、学級集団としての質の向上を図ってきた。また、QUアンケートの活用を継続しながら、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの「授業づくり・授業改善」にも注目し、「～集団づくりと授業づくりの実践を通して～」と副主題を設定し、集団づくりと授業づくりの両面から研究を進め、学び合い支え合う学級集団を目指すことができています。

特に、授業と家庭学習の有機的な結びつきを目指して、帰りの会の前に「家庭学習スタンバイ」の時間を設定し、取り組んでいる。基礎学力の定着を目指したランクアップテストや定期テストでの取組の充実の他、生徒の主体的な学習への働きかけを継続することで、生徒の意識と学習習慣の定着に効果が出ている。

今年度から3年間、県教育委員会から「主体的・対話的で深い学び推進事業」の推進校の指定を受けた。これまでの研究の成果を生かしつつ、「主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造に向けた研究を進めたい。各教科の特色を生かし、生徒が主体的・対話的で深く学ぶ授業づくりを進めていくことで、新学習指導要領への円滑な移行とそれに先立つ適切な教育課程の編成を図りたい。そして、確かな学力の向上が実現できるよう、本主題を設定した。

なお、研究を進めるに当たっては、研究成果の普及や情報発信を積極的に行うことで、広く全県的な取組の中心となることを目指したい。

## 4 研究の具体的内容と方法

### (1) 研究に向けた基礎学習

- ①新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」の位置づけ（第1章 総則）
- ②「主体的・対話的で深い学び」が示された背景（平成28年12月21日中教審答申）
- ③各教科等における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に関する配慮事項

### (2) 基礎研究

「主体的・対話的で深い学び」とは？ ※3つの視点を、本校として定義づけ（解釈）する。

### (3) 研究に向けた基礎調査・実態把握

- ①生徒の実態 ※本校の定義した「主体的」「対話的」「深い学び」の3つの視点で分析・把握
  - 全国学力・学習状況調査から ○県学力把握調査・・・ここ数年の本校の実態
- ②教員・学校の実態
- ③確かな学力を目指すための環境づくりとしての集団づくりの実態
- (4) 授業実践に向けた研究
  - ①「主体的・対話的で深い学び」を目指す取組を研究している先進校の事例研究
    - 授業実践例（指導計画、指導内容、指導方法、指導過程、評価方法等）
    - 校内研修の工夫（ワークショップの内容設定や進め方など）
  - ②各教科等における「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業研究
    - 日常の授業の中での継続的な活動の工夫改善を進める。
      - ☆個人差への対応 ☆家庭学習と授業の有機的な結びつき（スタンバイと家庭学習の内容）
    - 授業づくり
  - ③研究内容及び成果の情報公開について ・研究会だより ・ホームページの公開 など
  - ④日常的な授業実践及び研究授業等に関わる評価の工夫
    - ・T T授業でのサブティーチャーによる評価 ・人事評価制度の活用 ※校長先生、教頭による授業参観評価
  - ⑤大学教授からの指導・助言(講演)
  - ⑥甲州市確かな学力育成プロジェクトの成果の振り返り
  - ⑦先進校の公開研究会への参加とその還流 ※一人一校以上の公開研究会への参加と還流報告

## 5 年間校内研修計画

月日	研究内容
4月 18日(水)	第1回校内研 (1) 研究に向けた基礎学習 ・研究主題・副主題について
25日(水)	第2回校内研 (2) 基礎研究 指導主事等事業趣旨説明
16日(水)	第3回校内研 (3) 研究に向けた基礎調査・実態把握 ①生徒の実態
30日(水)	第4回校内研 (3) 研究に向けた基礎調査・実態把握 ②教員・学校の実態
20日(水)	第5回校内研 (3) 研究に向けた基礎調査・実態把握 ③確かな学力を目指すための環境づくりとしての集団づくりの実態
11日(水)	第6回校内研 (4) 授業実践に向けた研究 先進校の事例研究
8月 3日(金)	教育講演会 第1回ブロック研究
夏休み中	②各教科等における「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業研究 ※各教科等での実践計画・内容をつくる。
24日(金)	第7回校内研 各教科等の具体的実践計画と内容の作成
9月 12日(水)	第8回校内研 各教科等からの実践計画と内容の発表 その①
26日(水)	第9回校内研 第1回拡大校内研究会 各教科等からの実践計画と内容の発表 その②
10月10日(水)	第10回校内研 第2回拡大校内研究会 研究授業①についての指導案検討
24日(水)	第11回校内研 第3回拡大校内研究会 研究授業①
11月 7日(水)	第12回校内研 QU分析について、分析を授業づくりに生かす工夫
14日(水)	第13回校内研 第4回拡大校内研究会 研究授業②についての指導案検討
21日(水)	第2回ブロック交流 親子ふれあい学習会(学力向上集会) 大学講師講演会等
12月 5日(水)	第14回校内研 第5回拡大校内研究会 研究授業②
12日(水)	第15回校内研 研究のまとめについて
1月 16日(水)	第3回ブロック交流
30日(水)	第16回校内研 今年度の成果と課題(授業研究と実践について)
2月 20日(水)	第17回校内研 今年度の成果と課題(校内研究・研修について)
27日(水)	第18回校内研 成果と課題を受けた教育課程編成について
3月 5日(水)	第19回校内研 来年度の方向性について